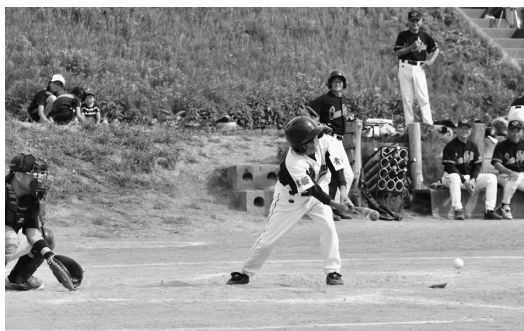




△交流試合終了後、握手を交わしていました。

試合は、つるたクレインフアイターズ20人と鶴田ルーキーズおよび鶴田クレインズの6年生で構成された学童選抜チーム16人によって行われ、6対1で学童選抜チームが勝利しましたが、勝敗に関係なく、両チーム楽しんで野球をしていました。

8月12日（日）、鶴田町営第2球場において、町野球協会（澁谷兼幸会長）主催「平成30年度学童選抜チーム対還暦野球チーム交流試合」が開催されました。交流試合は、子どもと大人の野球を通して交流や、還暦を超えても野球を楽しんでいる姿を子どもたちに見せることで野球の楽しさを伝え、野球を続けてほしいという思いから開催されています。



△和聖くんの投球を三遊間へ打ち返した武志さん

その後、良太さんが投手を務め、力さんと久志さんとの対決も行われました。力さん、久志さん共に安打は出ませんでした。が、普段なかなか対決する機会のない親子同士の野球に笑顔を見せていました。

親子での野球対決をしました。選手最年長の武志さんとひ孫の和聖くんとの対決では、投手を務めた和聖くんから三遊間へ打球を飛ばし、守備が交錯している間に一塁を駆け抜け、見事内野安打となり、球場を沸かせました。

【有料広告】



夏まつりでネプタカ行く本町<昭和43年>やぎはし写真館提供

写真アルバム 10月下旬発売 限定1500部 五所川原・つがる・西北津軽の昭和

町並や建物、交通、祭り、学校などの昭和の懐かしい日常風景を600枚の写真で紹介！

ご予約はお近くの書店へ！定価：9,990 円(税込)

監修：中国 裕

仕様：A4判/写真 600 枚

上製本/280 頁

発売元：青森県図書教育用品㈱ 発行元：㈱いき出版 新潟県長岡市南七日町 81-5 TEL 0258-89-6555

松山武志家 4 世代野球選手

INTERVIEW



松山 武志 選手

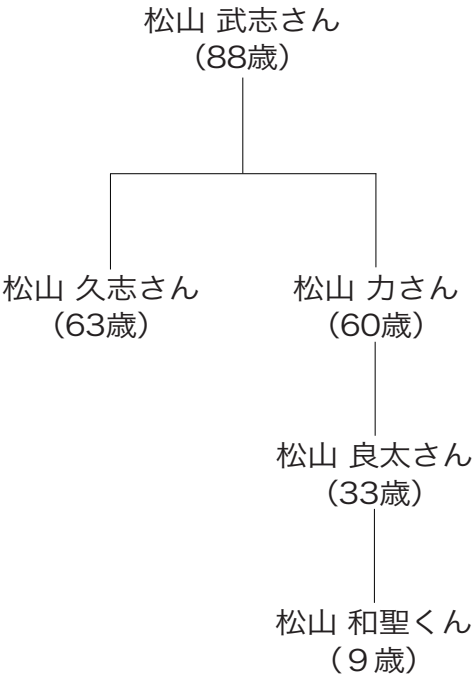
ひ孫と試合をすることができて、本当に幸せです。最高の気分です。私は体も動かなくなってきたので、今回は引退試合ですが、これからは観戦中心で野球を楽しみたいと思います。野球をやっている人も高齢化が進んでいるので、これからは野球をする人がどんどん増えていってほしいです。

INTERVIEW



松山 和聖 選手

大人と試合ができたのも楽しかったし、88歳でも野球をやっているのはすごいと思いました。僕は今は内野で野球を頑張っていますが、バッティングも練習して、中学生になっても野球は続けたいです。ひいおじいちゃん（武志さん）もすごいけど、僕は100歳まで野球を続けたいです。



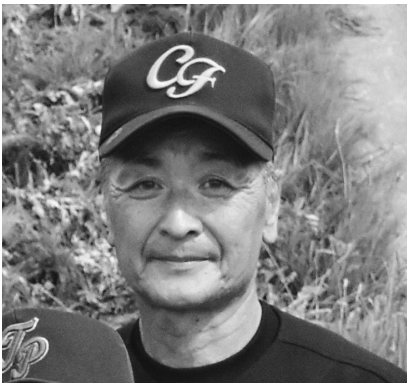
INTERVIEW



松山 久志 選手

今回の世代交流もそうですが、野球を通してたくさんの仲間ができました。野球そのものの楽しさももちろんですが、野球が終わった後にみんなでお酒を飲みながら話すのも私の楽しみになっていました。野球に限らずスポーツはいいなと心の底から思います。

INTERVIEW



松山 力 選手

孫と野球をするのはずっと私の夢だったので、嬉しかったです。父親（武志さん）の影響もあって中学校から野球を始めて、社会人になってからもずっと野球を続けています。家に帰っても毎日キャッチボールをしていて、冬でもやっていたのは今でも覚えてます。

INTERVIEW



松山 良太 選手

父親（力さん）と親子対決ができたのは本当に楽しかったです。私は父の影響もあり、小学校4年生から野球を始めましたが、祖父（武志さん）が88歳でも野球をやっているというのは本当にすごいと思います。野球はとても楽しいスポーツなので、私もこれからも続けていきたいです。